

能登半島地震被災者支援・チャリティ映画会／4作品上映

オープニングゲスト 24日13:00～13:20 和太鼓演奏／「山口太鼓」のみなさん

2024年 2月 24日(土)

25日(日)

①13:30～15:15 『一献の系譜』

④9:30～11:30 『今日も明日も負け犬』

②15:40～17:30 『銀河の雫』

③18:00～20:00 『神代の物語』

入場無料

／支援募金にご協力をお願いします

会場 西宮市山口ホール：山口町下山口4-1-8(山口センター内)

- 主催：山口ホールもりあげ隊
- 後援：西宮市山口地区社会福祉協議会
西宮市山口ホール指定管理者日本管財株式会社
- 協力：山口中学校区PTA連絡会

集まった義援金は、
公益財団法人ほくりくみらい基金
「令和6年能登半島地震 災害支援基金」
へ全額寄付させていただきます。



国の名前が付くお酒「日本酒」その造り手「杜氏」。能登という風土が醸し出す、酒造りの世界を追ったオムニバスドキュメンタリー映画。

いつこのけいふ

一献の系譜

酒造りは、かつて農家の男達の冬の出稼ぎ先でした。半年間、家族と離れ一日も休みがなくて、朝も早い。そんな、厳しい環境下技を極めた名人四人衆がいました。「能登杜氏四天王」。

その流儀を受け継いだ現役、後輩杜氏たち。彼らの「葛藤」は、現代に生きるあらゆる人へ「生きる道」を思い返させるのです。

文部科学省選定
社会教育(教材) 青年向け 成人向け

ナレーション: 篠原ともえ 企画: 能登杜氏の里交流創出委員会、徳力 暁 監督: 石井かほり
この映画の監督は、西宮市出身です。↑



銀河の雫 はじまりはひとつ

ネパールには、宇宙の仕組みを知る人々が住んでいた。

2015年、マグニチュード7.8の巨大地震がネパールを襲った。首都カトマンズをはじめ中西部は壊滅的な被害を受けた。亡くなった人は約9,000人に及び、子どもだけでも110万人もが被災し、学校も倒壊、ネパール人の心の拠り所であった最古の寺院も倒壊した。親交を育んでいた日本語ガイドのギータさん一家も被災し家を失った。山元さんは突き動かされるように、2016年の1月にネパールに飛んだ。大好きなネパールの人の優しさや共生のようすを映像で伝えれば、支援の輪を広げることができると思った。ガレキが残るカトマンズで、ギータさん一家と再会、ギータさんを主人公にした、カトマンズの人たちの笑顔や祈り、紡がれる言葉を5日間撮影し続けた。それがこの映画です。


山元加津子 1957年金沢生まれ
作家／元特別支援学校の教員
「本当のことだから」「きいちゃん」「魔女モナの物語」など著書多数。



龍笛奏者・芳村直也
「神代の物語」
2023年8月26日(土)
三田市「郷の音ホール」
＜収録映像＞

“日本神話”をテーマとして芳村が作編曲を担当。楽器編成は雅楽で奏でられる「龍笛」を始めとして、声楽・弦楽・ギター・ピアノ・シンセサイザー・ベース・ドラム・パーカッションなどが加わり、更にダンサーがステージを鮮やかに彩り、二部には役者も参加。他に類を見ないこの壮大な舞台を極めて高い技術で再現した一大絵巻です。

※第一部と二部の間に、芳村直也さん本人による生演奏があります。



起立性調節障害と闘う高校生監督
監督・西山夏実の夢
「自分の人生を映画化する」から全てが始まった。

「本書いてよ」西山(当時16歳)はクラスメイトの小田(当時16歳)に言った。緊急事態宣言下の3か月間、脚本の小田実里が映画の原作となる西山の人生を描いた本を執筆。本は即日売完。予想を上回る反響から映画化を決めた。SNSで呼びかけ、監督、脚本、キャスト、スタイリスト、AD、メイキングなど全てが学生の期間限定チームが結束された。映画の作り方すら誰も知らないそんな「大人立ち入り禁止の撮影現場」が生まれた。「コロナ渦」「学生」「初心者」「初対面」「闘病」様々な壁を乗り越え、1年かけて紡いだのが本映画である。

2022年高校生映画全国大会で最優秀賞

※エンディング後に流れる映画制作ドキュメンタリー(約15分)も感動的です。